



生徒一人一人のよさを見極め、称賛し、夢と希望を育む学校

羽生市立南中学校

令和7年 9月29日発行

# 南中だより 10月号

「時を守り、場を清め、礼を正す」 - あなたもやればできる人 -

校長 堀越 成夫

9月22日(月)、羽生市産業文化ホールでスローガン「百歌繚乱～It's Sing Time!～」のもと「令和7年度 羽生市立南中学校合唱コンクール」が実施され、大きな成果を収めました。1学期の後半から実行委員会を組織し、各クラスで練習してきました。2学期に入ると朝から教室で練習する様子や放課後には教室、音楽室などでの練習を通して、日に日にクラスとしてのまとまりや完成度が高まっていくなど、取組の過程の大切さを痛感させられました。御来場いただいた、保護者の皆さまには、お忙しい中、大変ありがとうございました。

さて、「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉を知っていますか。2年生は、学年目標にもなっているので、意味についても十分理解していると思います。この言葉は「生活の基本」であり、哲学者・教育者であった「森 信三先生」の言葉です。「人として、社会の一員として、他者とともに生きていくうえで、欠かせない根本の姿勢」です。

「時を守る」ことは、他者の時間を大切にするという思いやりの表れです。「場を清める」ことは、身のまわりを整えることを通じて、自らの心をも整えていく行いです。「礼を正す」ことは、自分以外の存在に敬意を持って接する態度です。この3つはどれも地味で目立たない行いかもしれません。しかし、長い目で見れば、成績や能力といった「見える力」ではなく、人生を支える「見えない力」となります。

これからの道のりには、思い通りにいかないこともあるでしょう。目に見える結果がなかなかでず、心が折れそうになることもあるかもしれませんが。そんな時こそ、「時を守り、場を清め、礼を正す」の励行により身につく力を信じ、力強く乗り越えてほしいと願っています。

そして、もう一つ大切にしてほしいことは、「愚直に徹する」があります。「愚直」とは、「一見不器用に見えるほど、損得を考えずひたむきに物事に向き合う姿」です。本当に力のある人は、目立たないところで、地道に努力を重

ねることができる人です。「凡事徹底」といいますが、一日一日の積み重ねが、やがて「自信」となります。何度か「失敗」することがあるかもしれませんが。大切なのは、「失敗から何を学び、どう立ち上がるか」だと思います。努力を続ける人の前には、必ず道が開けてきます。

2学期の学校生活の中で多くの仲間との絆を深め、お互いに高め合える、支え合える集団をさらに目指していきましょう。そして、日々成長していることを実感しながら毎日を大切に生活していきましょう。



日	曜日	予 定	日	曜日	予 定
1	水	秋季総合体育大会（特別日課4時間）	16	木	北埼玉地区駅伝競走大会
2	木	秋季総合体育大会（特別日課4時間）	17	金	※駅伝予備日
3	金	秋季総合体育大会（4時間）	18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	後期時間割開始
6	月	生徒会引継ぎ式⑥	21	火	
		月例費引き落とし	22	水	
7	火	※大会予備日	23	木	職場体験学習（2年）
8	水	登校指導日 ※大会予備日	24	金	職場体験学習（2年） 進路説明会（3年）
		新人兼県民総合スポーツ大会（陸上）			
9	木	新人兼県民総合スポーツ大会（陸上）	25	土	
		※大会予備日	26	日	
10	金		27	月	
11	土		28	火	
12	日		29	水	生徒会専門委員会
13	月	スポーツの日	30	水	
14	火	新人兼県民総合スポーツ大会代表者会議	31	木	三者面談（特別日課4時間）
15	水	臨時歯科健診（1年4組、2年3、4組）			

自己啓発の日：2日、6日、15日、22日、30日

下校指導：15日、22日